



連続講座
1

【基礎編】

NPOがミッションを実現するためのキーポイント～基礎から実践までを分かりやすく解説～

なぜ、NPOなのでしょう？ NPOで一体何ができるのでしょうか？ この講座では、NPOについての理解を深めたい人のために、基礎から実践まで必要な情報を、2日間でコンパクトに有意義に学ぶことができます。

9 / 13 15:30～18:00<100名程度>

基礎講座Ⅰ ミッションとは何か？ ～その実現のための3本の矢「おもい・情報・計画」～

内 容 NPOの核となるミッションの意味と重要性を理解したうえで、近未来の「組織像」を描く際に必要なアプローチ（「顧客とニーズ」・「関連団体の動き」・「社会（＝地域と制度）」・「自分たちは何をなすべきか」）などについて、これまでの実践を通じた加藤流、「おもい・情報・計画」の活用術についても秘伝を学ぶ。

論 点 NPOの本当の意味／NPOにおけるミッション（社会的使命）と公益性／法人化することの意味／事業計画の工夫／情報の収集と発信

講 師

- 加藤 哲夫（特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事）

9 / 14 9:30～11:45<100名程度>

基礎講座Ⅱ 人と組織 ～よりよい組織へと成長するための人の育て方・育ち方～

内 容 ミッション実現を目的とした組織力（内部）強化と活動の拡大（アウトリーチ）のための、最も重要な項目である「人の成長」を考える。その基礎となる戦略・事業計画、現状と未来の組織デザインから導かれる採用計画と手法を学ぶ。「事業デザインの6W3H」についても具体的な手法を聞き、組織内の人間関係についても考えたい。

論 点 組織化の過程と人の配置の特徴／専従スタッフに求められる「個性的な発想」／「成果への責任」という意識の重要性／事務局スタッフとボランティアの役割分担／スタッフやボランティアに対するモチベーションの維持

講 師

- 川北 秀人（IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）代表）

9 / 14 12:45～15:00<100名程度>

基礎講座Ⅲ 資金源 ～財政基盤の確立と強化に必要なもの～

内 容 NPOにとってどのような資金をどのように得て活動を進めるかは、重要な課題となっている。その資金源の特徴を紐解き、組織の形態や活動内容に適する財源確保の方法を学ぶ。現状の分析の方法を踏まえ、今後の強化のためになすべきことについて、皆で考えていきたい。組織の「時間経過」や「成長段階」を踏まえた資金調達のあるり方や、立ち上げ時の資金戦略の描き方も考えたい。

論 点 ミッションとプロフィットの緊張関係を保つ意義と方法／財源構成の多様性／自立のための財源確保とは／組織の発展に伴う必要財源の変化

講 師

- 田尻 佳史（特定非営利活動法人 日本NPOセンター 事務局長）

連続講座
2

[協働編]

「協働」について改めて考える ～その新しい姿を模索する～

「協働」という言葉が、現在のさまざまな課題を解決してくれる“マジックワード”のように使われています。では、実際、協働によって何が解決できるのでしょうか？ この講座では、「協働」の真の意味を理解し、その成立の条件を考察するとともに、行政や企業との協働や実践事例を具体的に分析することによって、これからの多様な協働の姿を展望したいと思います。

9 / 13 15:30～18:00<100名程度>

協働講座(特) 「協働」の意味とその条件

- 内 容 新しい市民社会を創造するための手段として「協働」を考え、その具体的な意味や、それを実現するための基本条件、協働の落とし穴について考える。また行政や企業の側に今後求められる、新たな発想や役割についても参加者とともに考えていきたい。「協働原論」とも言える講義を目指す。
- 論 点 協働の意味と目的／協働のための基本条件／協働の落とし穴／行政に求められるもの／企業に求められるもの／近未来の協働の姿

講 師

- 山岡 義典（特定非営利活動法人 日本NPOセンター 常務理事／法政大学 現代福祉学部 教授）

9 / 14 9:30～11:45<100名程度>

協働講座(監) 企業との協働事例に学ぶ

- 内 容 まず北海道における企業との協働事例について概観し、先駆的な事例として知的障害者福祉作業所と企業の福祉就業部門との協働の事例について、NPOと企業の双方から報告を聞き、参加者との質疑を通じて、その意味と成果と課題について徹底的に分析する。
- 論 点 障害者の就労をめぐるNPOと企業の役割／企業における障害者雇用の現状と課題／協働によってお互いに得るものは？／企業の限界とNPOの限界／新しい協働の姿とは

コーディネーター

- 岸田 真代（特定非営利活動法人 パートナースHIP・サポートセンター 代表理事・事務局長）

情報提供者

- 佐藤 和男（札幌通運労働組合 書記長）

事例報告者

- 小谷 誠之（障害者福祉作業所かたるべ社 所長）
- 平野 章（ファイザー製薬株式会社横浜パッケージセンター 所長）

9 / 14 12:45～15:00<100名程度>

協働講座(企) 行政との協働事例に学ぶ

- 内 容 まず北海道における行政との協働事例について概観し、先駆的な協働事例として宮城県白石市におけるスキー場経営の実情について、NPOと自治体との双方から報告を聞き、参加者との質疑を通じて、その意味と成果と課題について徹底的に分析する。
- 論 点 公的財産の活用における協働のありかた／行政の負担とNPOの負担／行政の利点とNPOの利点／これからの協働に求められる経営センス／協働における法的・制度的な課題

コーディネーター

- 牧野 昌子（特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 代表理事）

情報提供者

- 柴田 達夫（北海道 総務部行財政システム改革推進室 参事）

事例報告者

- 菊地 正昭（白石市 税務課 課長）
- 木村 孝（特定非営利活動法人 不忘アザレア 事務局長）



連続講座
3

[政策編]

NPOと政策 ～真の民主主義を実現するために～

真の民主主義とは何か？ その実現のために、NPOは政府や自治体の政策形成にどのように関わることができるのか？ 政策提言を通じての関わり、政治を通じての関わり、市民運動を通じての関わりがあると考えています。NPO法人には政治活動や選挙活動について一定の制約がありますが、法の範囲の中でもさまざまな関わりが可能です。具体的な事例を通じて、その可能性を考えてみたいと思います。また、今大きな課題となっている公益法人制度の抜本改革についても、その意味と行方について議論したいと考えています。

9 / 13 15:30～18:00<100名程度>

政策講座(特) 政策提言をどう実現するか ～条例作りの取り組みから考える～

内 容 地域に直結した政策を形にする最も重要な方法は、条例の制定である。一般に条例は行政内部で準備され議会に提出されることが多いが、市民団体が議会を通じて制定することも可能だ。実際に条例づくりに参加した事例を参考に、そのプロセスを学び、NPOと法(条例)の関係、政策提言のあり方や立法過程に関わる意義を考える。

論 点 条例はどのようにして作られているか/NPOは条例づくりにどう関わるか/
条例づくりを通じて地域社会をどのように変えるのか/議会とNPOの望ましい関係とは

コーディネーター

- 川崎 あや (特定非営利活動法人 まちづくり情報センター かながわ理事・事務局長)

事例報告

- 奥津 茂樹 (特定非営利活動法人 参加型システム研究所 主任研究員)
- 清野 祥子 (特定非営利活動法人 地域福祉支援センターちいさな手 理事長)

9 / 14 9:30～11:45<100名程度>

政策講座(監) NPOと政治との関わりについて考える ～組織として・個人として～

内 容 NPO法においては政治とのかかわりについては一定の制約がある。しかし社会の課題解決に向けて活動をするNPOにとっては、制度改革や政策実現に政治的に関わる必要が出てくる場合も多い。それが選挙につながることも今後はますます増えてこよう。よりよい社会の実現に、NPOと政治はどう関わっていくべきか考えたい。

論 点 政治とは何か/選挙に関わることの意味/NPO法上の制約をどう理解するか/
今後の望ましい政治との関係とは

コーディネーター

- 後 房雄 (名古屋大学大学院法学研究科 教授/特定非営利活動法人 市民フォーラム21・NPOセンター 代表理事)

問題提起

- 今里 滋 (九州大学 名誉教授 法学博士/特定非営利活動法人 宮崎まちづくり放談会 理事長)
- 小林 董信 (特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター 事務局長)

9 / 14 12:45～15:00<100名程度>

政策講座(企) 公益のあり方と法制度・税制度 ～公益法人制度改革の進め方を考える～

内 容 行政改革の一環として公益法人制度の抜本改革が議論されている。抜本改革自体の必要性はいうまでもないが、内容次第では日本の非営利セクターに大きな禍根を残す。特に税制度との関係は重要である。改革議論がされている背景やその問題点を理解するとともに、NPO側としてこの課題にどう向き合うべきかを考える。

論 点 公益法人制度改革の必要性/これまでの経緯と問題点/法人制度と税制度の関係/
公益法人制度とNPO制度の関係/今後の改革具体化への向き合い方

コーディネーター

- 渡辺 元 (特定非営利活動法人 日本NPOセンター 特別研究員/財団法人 トヨタ財団 シニアフェロー)

基調報告

- 太田 達男 (財団法人 公益法人協会 理事長)

コメント

- 松原 明 (シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 事務局長)



クロージングフォーラム

- 日 時 9月14日(日) 15:10~16:00
会 場 札幌市コンベンションセンター「大ホール」
テ ー マ NPOによる真の民主主義の実現に向けて
内 容 今回のフォーラムは、「地域におけるNPO」にこだわった企画として全体をつくりあげてきた。このクロージングフォーラム(まとめ)では、「地域のこれからのあり方」を中心に、分科会、セミナーで議論されたそれぞれのキーワードをおりませながら、今後の方向性、課題について整理をしたい。

鼎 談 者

- 川崎 あや (特定非営利活動法人 まちづくり情報センター かながわ理事・事務局長)
杉岡 直人 (北星学園大学大学院社会福祉学研究科 教授/
特定非営利活動法人 北海道NPOバンク 理事長)
山岡 義典 (特定非営利活動法人 日本NPOセンター 常務理事/
法政大学 現代福祉学部 教授)

プレ企画 ユースフォーラム

- テ ー マ NPOをライフスタイルに取り入れる！—こだわり就職活動のすすめ—
内 容 将来は「企業で働きたい」、「公務員になりたい」という声に混ざって、「NPOで働きたい」という声もあちこちで聞かれるようになりました。また就職という形だけでなく、NPOへは様々な関わり方があり、会社員、公務員の方もNPO活動をする方が増えてきています。企業でもない、行政でもない、第3番目の民間非営利のセクターとして注目されてきているNPOですが、その実情を知る機会はなかなかありません。今回はNPOへ様々な形で関わる社会人の方々をお招きしお話を伺います。NPO活動の魅力、NPOのライフスタイルへの取り入れ方を伺い、NPO的ライフスタイルを考えてみませんか？

- 日 時 9月12日(金) 18:00~21:00
会 場 札幌市コンベンションセンター
対 象 学生他 (NPOをライフスタイルに取り入れたい人)
参 加 費 学生 500円 社会人 1,000円 主 催 NPOユースフォーラム実行委員会
定 員 90名 (定員に達し次第締切) 協 力 NPOアントレプレナーゼミ

お問い合わせ・お申し込みなど

NPOユースフォーラム実行委員会 (担当: 谷本)
TEL 011-756-0034 FAX 011-716-2899 E-mail y.tanimoto@m2.dion.ne.jp
※詳細は、
北海道NPOサポートセンターのホームページ (<http://www.npo-hokkaido.org/>) で
公開いたします。